

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2013年8月8日～14日)

平成 25 年(2013 年)8 月 16 日

H E A D L I N E S

政治

世論調査における「市民プラットフォーム」(PO)と「法と正義」(PiS)の支持率
 ポーランド外務省、サッカー試合における反リトアニア的な内容の横断幕掲揚を非難
 ベトナムの国防大臣がポーランドを訪問
 政府、アフガニスタンへのポーランド軍派遣期間延長に関する動議を大統領に提出

経済

ワルシャワ証券取引所が新たに導入されるWIG30株価指標の構成企業を発表
 ポーランド政府が投資及び雇用補助金受領条件を緩和
 地方政府の財政が潤沢
 ヴィエリチカ塩鉱が記録的な人気
 2013年前半は貿易赤字が60億ユーロ改善
 ポーランド人1人当たりのGDPが増加
 GMとミシュランがポーランドでの投資を検討
 ポーランドからトルコにトラクターを輸出
 チーズの輸出が拡大
 PKPカーゴ社が新規株式公開後の買収先を模索
 多数の航空会社が政府支援を要請
 景気減速にも関わらずポーランドの銀行部門は好調
 中国の Tri-Ring グループによる FLT Krasnik 社の買収が承認される
 高速旅客列車「ペンドリーノ」がポーランドにヴロツワフ駅に到着
 バスの生産台数が拡大する見込み
 米輸出入銀行がポーランドの原子力プロジェクトへの資金支援の可能性に言及
 オポレでの新規石炭火力発電ユニット建設プロジェクトは12月に開始予定の見込み

大使館からのお知らせ

ポズナンにおける領事出張サービスについて
 平成25年度後期分教科書の配付について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

| | |
|---|---|
| 政 | 治 |
| 内 | 政 |

世論調査における「市民プラットフォーム」(PO)と「法と正義」(PiS)の支持率【13日】

13日付ジェチポスポリタ紙に掲載された世論調査(Homo Homini 社、対象1,100名)にて、最大野党「法と正義」(PiS)は、34%の支持率を獲得し、26%にとどまった与党「市民プラットフォーム」(PO)

を大きく上回った。他方、世論調査機関 CBOS が8月に実施した世論調査(対象904名)では、POが25%を獲得し、24%にとどまったPiSをわずかに上回った。最近の世論調査では、PiSが支持率でPOを上回る傾向が続いている。

| | |
|---|---|
| 外 | 交 |
|---|---|

ポーランド外務省、サッカー試合における反リトアニア的な内容の横断幕掲揚を非難【9日】

8日、ポズナンにて開催されたポーランドとリトアニアのクラブ・チームのサッカー試合にて、ポーランド応援団が「リトアニアのがさつ者よ、ポーランドの主人の前に跪け」という内容の横断幕を掲げた。これを受けて9日、ポーランド外務省報道担当は右行動に断固反対する立場を表明した。同横断幕をめぐるは、リンケビチュウス・リトアニア外相が嫌悪を扇動する恥ずべき試みと形容して非難している。

将がポーランドを訪問。シェモニャク国防相と会談し、士官学生の交流等、両国間防衛協力について協議すると共に、ベトナム軍のPKO活動参加や防衛産業面での協力等について意見を交換。

政府、アフガニスタンへのポーランド軍派遣期間延長に関する動議を大統領に提出【13日】

13日、政府はポーランド軍のアフガニスタン派遣を2014年4月13日まで延長する動議を大統領に提出。本案によると次期派遣部隊の規模は計画通り1000名まで縮小される見込み。

ベトナムの国防大臣がポーランドを訪問【12日】

12日、ベトナム国防大臣フン・クアン・ティン大

| | |
|---|---|
| 経 | 済 |
|---|---|

| |
|---------|
| 経済・財政政策 |
|---------|

ワルシャワ証券取引所が新たに導入されるWIG30株価指標の構成企業を発表【12日】

ワルシャワ証券取引所は、9月23日から導入されるWIG30株価指標の構成企業を発表した。これまでのWIG20に加え、新たに Alior Bank、Azoty Tarnow、Boryszew、CCC、Cyfrowy Polsat、Enea、ING BSK、LPP、Netia 及び TVN の10社が指標に加わることになる。また、予備リストには、Millennium、Getin Noble Bank、CEZ 及び AmRest が入ることとなった。WIG20指標の発表は2016年まで継続される。

補助金受領条件を緩和した。投資金額の下限は10億ズロチ(310億円)から7.5億ズロチ(232億円)に引き下げられ、また、最低雇用者数は500人から200人に引き下げられた。

地方政府の財政が潤沢【13日】

地方政府の財政は、2013年通年で109億4千万ズロチの財政赤字を予定していたところ、実際には81億1千万ズロチの余剰が発生している。歳入は年間計画の47.3%である908億9千万ズロチに止まるが、歳出が年間計画の40.8%となる82億8千万ズロチに抑えられ、特に設備投資が前年比14.3%減、年間計画の17.2%減となる85億3千万ズロチとなっている。

ポーランド政府が投資及び雇用補助金受領条件を緩和【14日】

ポーランド政府は更なる投資誘致を促進すべく、

| |
|------------|
| マクロ経済動向・統計 |
|------------|

ヴェリチカ塩鉱が記録的な人気【11日】

年間百万人超が訪れる世界遺産のヴェリチカ塩鉱の訪問者がますます増加しており、7月には前年同月より2千人多い15万3千人が訪れ、1月

～7月の訪問者数は前年同期の8%増、5万2千人多い68万4千人となった。このうち外国人が51%を占め、英国人が3万8千6百人、イタリア人が2万3千2百人、韓国人が2万2千9百人となってお

り、ロシア人、ドイツ人、フランス人がこれに続く。ヴェリチカ塩鉱は広報活動に力を入れており、昨年は世界中から千人以上のジャーナリストが訪問している。

本年前半は貿易赤字が60億ユーロ改善【12日】

中央統計局(GUS)によれば、2013年前半の輸出は前年同期比6%増となる742億ユーロ、輸入は同2.3%減となる747億ユーロで、昨年同期より60億ユーロ少ない5億ユーロの貿易赤字に改善された。貿易全体に占めるドイツの割合が減少しており、輸出が前年同期比0.7%減となる25%、輸入も同0.4%となる21.2%となっている。

ポーランド産業動向

GM社とミシュラン社がポーランドでの投資を検討【9日】

ピエホチンスキ副首相兼経済相は、具体的な企業名を明らかにしていないものの、自動車産業で複数の新規投資が行われることを示唆している。GM社はティヒ(ポーランド南部)で15億ズロチ(約450億円)を投資して200人を雇用するエンジン製造工場の建設を検討している。また、ミシュラン社は、オルシュティン(ポーランド北東部)で3.8億ズロチ(約120億円)を投資して51人を雇用する農耕機用新世代タイヤの製造を検討している。ポーランドはスペイン、フランス、ドイツ、メキシコ及びハンガリーといった国々と誘致競争をしなければならぬ。

ポーランドからトルコにトラクターを輸出【10日】

ポーランドの農耕機メーカーの「Farmatrac」社が8千万ユーロの契約で1万台の農耕機をトルコに輸出する契約に署名したと同社の Kublik 社長は発表した。8月に数台が輸出され、10月から定期的に供給されるようになる。Farmatic Tractors Europe社は、インドの Escorts Ltd.のグループ企業で、Mragowo 工場では約100人を雇用し、年間1,000台を製造し、年間収入は1億ズロチ(約30億円)に達する。同社は中小規模農家における農作業用48馬力伴走タイプのトラクターから、110馬力の特殊任務用ハイエンド機までを供給する。同社は年間生産台数を3~4千台に拡大するとともに、現在同社供給先の18%を占めるEU向けを拡大し、70~80馬力トラクターで主要企業となることを目標としている。

チーズの輸出が拡大【9日】

2013年1-5月期のポーランドのチーズの輸出は2億6千万ユーロで、昨年の同時期よりも19%拡大した。2012年通年の輸出額は5.5億ユーロ

ポーランド人1人当たりのGDPが増加【13日】

中央統計局(GDP)は、1人当たりのGDPを算出する際、国外に1年以上滞在するポーランド人を除外することを決定した。1万3千人がこれに相当するため、計算対象となる国民数が3,850万人から3,720万人に減少し、2012年の1人当たりのGDPはEU平均の66%から68%に増加し、2014年にはEU平均の70%を超えると予想されている。また、他国が現在の計算方法を維持した場合、ポーランド人1人当たりのGDPは、ハンガリー、エストニア、ラトビアを凌ぐことになる。

で、前年比13%成長していた。昨年ポーランドのチーズ輸出の大半がチェコ向けであったが、本年はロシアが主な輸出先となっており、同国への輸出は前年比で60%拡大している。この結果、ポーランドはEUにおいてドイツ、オランダ、フランス、イタリアに次ぐ第5位のチーズ輸出国となっている。

PKPカーゴ社が新規株式公開後の買収先を模索【9日】

欧州第2位鉄道貨物輸送会社「PKPカーゴ」社が、新規株式公開(IPO)後に買収を行うことを模索している。同社のボロン(Boron)CEOは、既に事業を行っているチェコ、ハンガリー、スロバキア、オーストリア、ドイツ及びベルギー市場に関心を示している。

多数の航空会社が政府支援を要請【12日】

ポーランド航空(LOT)は、ポーランド政府から2度目の救済支援を受けるべく欧州委に再建計画を提出しているが、2012年に欧州委は9航空会社から政府支援の要請を受けている。現在支援を要請している航空会社は、スカンジナビア航空、チェコ航空、オーストリア航空、アドリア航空、クロアチア航空、エアー・マルタ、エアー・バルチック、ハンガリー航空、ユーゴスラビア航空、キプロス航空及びLOTの11社に登り、欧州委が多数の航空会社による厳しい競争が行われる航空市場と、少数の巨大航空会社と低運賃航空会社からなる米国型の航空市場のどちらを選択するか注目が集まっている。

景気減速にも関わらずポーランドの銀行部門は好調【12日】

最近6カ月間のポーランド経済はここ20年で最低水準に陥っているが、銀行部門は過去最高益を記録している。ワルシャワ証券取引所に上場して

いる7行の主要銀行のうち、Alior 銀行を除く6行は利益が市場の予測を上回り、Bank Handlowy と Bank Slaski は市場の予測を25%上回った。銀行部門全体でも2013年第2四半期は好調で、純利益は昨年同期を7%上回る41億ズロチ(約1,260億円)だった。金融監督庁による政策の結果、ポーランドの銀行のリスク資産は少なく、不良債権問題は発生していない。また、債券市場の状況からも恩恵を受けている。

中国の Tri-Ring グループによる FLT Krasnik 社の買収が承認される【13日】

競争・消費者保護局は、中国の Tri-Ring グループ(三環集団)による軸受け製造会社「FLT Krasnik」社の買収を承認した。同グループは本年5月に「F」社を政府系の産業開発庁から買収(買収価格は推定約3億ズロチ(約90億円))することを表明していた。

高速旅客列車「ペンドリーノ」がポーランドにヴロツワフ駅に到着【12日】

アルストム社製の高速旅客列車「ペンドリーノ」型車両がヴロツワフ駅に到着した。公式行事の後、

同車両は試験運転が行われる Zmigrod の鉄道研究所に運ばれる。10月13日にオルシュティン—ノヴィ・ソンチュ間の営業路線を利用して試験運転が行われた後、高速運転が可能な中央鉄道線(CMK)に運ばれ、緊急システムの確認が行われる。実際の営業運転では200km/hを上回ることはないが、許可証を得るには250km/h超で試験走行する必要がある。第2編成は10月にポーランドに到着し、2014年5月までに20編成が供給される。ワルシャワとクラクフ、グダンスク、カトヴィツェ及びヴロツワフを結ぶ路線で利用される。運転開始は2014年12月が予定されており、運行するPKP IC社によれば、切符の最低価格は49ズロチ(約1,500円)とのことである。

バスの生産台数が拡大する見込み【14日】

2013年のポーランドにおけるバス生産台数は、前年比10%増(3,560台増)となる見込みであると専門家は述べている。上半期は1,496台(前年同期より102台減)の生産にとどまったが、輸出は2.5%拡大している。来年には、自動車エンジンに関するEUの新基準が導入されることから、更なる輸出拡大が見込まれる。

エネルギー・環境

米輸出入銀行がポーランドの原子力プロジェクトへの資金支援の可能性に言及【9日】

米輸出入銀行(Ex-Im Bank)の Schuster 氏は、ポーランドの原子力発電所建設プロジェクトにおいて米国の技術が採用される場合、米国からの資金支援をあてにすることができるかと述べている。同氏は、公式な提案は行っていないものの、既に初期の議論は始めていると述べており、また、融資額は10億ドル又は50億ドルになるだろうと述べている。

オポレでの新規石炭火力発電ユニット建設プロジェクトは12月に開始予定の見込み【14日】

PGE社によるオポレ石炭火力発電所新規ユニット建設プロジェクト(約900MW×2基、投資金額15億ズロチ)に関し、非公式情報によれば、PGE社は受注コンソーシアム(ラファコ社、ポリメックス・モストスタル社及びモストスタル・ワルシャワ社)との契約の有効期間を8月15日から4ヶ月間延長し12月15日までとした。課題となっている政府による支援については、国家環境保護・水管理基金(N FOSiGW)による支援及びPSE社(送電網管理会社)が7億~10億ズロチで電力を購入し事前に当該金額を支払う方法などが検討されている。また、政府の投資プログラムに基づく国家経済銀行及びPIR社の参加も検討されている。

大使館からのお知らせ

ポズナンにおける領事出張サービスについて

大使館は、10月19日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Poznan(ul. Roosevelta 20, 60-829,Poznan)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記当館HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

平成25年度後期分教科書の配付について

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成25年度後期分教科書(小学生のみ)を配付いたします。(後期分は中学生用教科書の配付はありません。また、ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません。)詳しくは下記当館HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日(月)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【予定】 ショパン音楽大学院学生によるコンサート【8月29日(木)18時】

ワルシャワのショパン音楽大学院の日本人の学生によるコンサートが開催されます。入場は無料です。

主催者:ポーランド市民交流友の会、ショパン音楽大学

開催場所:ショパン音楽大学 Melcer コンサートホール(Uniwersytet Muzyczny Fryderyka Chopina, Sala Koncertowa Melcera)(住所:ul.Okolnik 2, Warszawa)

【予定】日本文化フェスティバル「アスコン 14」【9月14日(土)～15日(日)】

カトビツェ市にて、シロンスク・ファンタジー・クラブによる日本文化フェスティバルが開催されます。同フェスティバルは、講演会・日本文化に関するワークショップ・日本に関する知識コンクール・コスプレなどの予定です。有料です。

問合せ先:シロンスク・ファンタジー・クラブ・電話:32-253-98-04、ホームページ:www.skf.org.pl)

開催場所:カトビツェ市シロンスク工場研究所(Slaskie Techniczne Zaklady Naukowe)(住所:ul.Sokolska 26, Katowice)

【予定】 オストルダ日本武道フェスティバル【9月15日(日)16時～20時】

オストルダ市にて、オストルダ極真空手クラブによるオストルダ日本武道フェスティバルが開催されます。日本武道のデモンストレーション・折り紙と書道ワークショップ・日本伝統踊りのデモンストレーションなどが行われる予定です。入場は無料です。

問合せ先:オストルダ極真空手クラブ(Ostrodzki Klub Kyokushin Karate) ホームページ:www.karate.ostroda.pl
メール:arturkarate@interia.pl)

開催場所:Amfiteatr(住所:ul.Adama Mickiewicza 17a, Ostroda)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)
(ご連絡は電子メールでお願いします。)